

第2回(2026年度) 特定研究助成金

「食の未来と人間社会」に関わる研究助成募集のご案内

本特定研究助成金は、「食の未来と人間社会」を特定研究課題に指定し、人文社会科学と自然科学の文理協働による優れた研究を助成することで、“食”の視点から持続可能な未来社会に貢献することを目的として2025年より開始しました。

«前回から「応募期間」「応募方法」「萌芽研究助成金の助成内容」が変更になっています。変更箇所は赤字で記載しています。»

➤ 趣意

日本は人口減少社会に入りつつある一方で、世界の人口は増え続け、食糧需要は拡大しています。さらに、気候変動や緊張する国際情勢は食糧の確保をより難しくしつつあり、食糧安全保障の視点が重視されるようになりました。そこで、本特定研究助成では、SDGsの各項目に幅広く関連する「食」の問題を取り上げ、未来の食を支えるさまざまな食糧生産技術や食糧確保のための手段、生産・流通・消費・廃棄に関わる新しい持続可能なフードシステム、またそれらの社会的・文化的・倫理的な意義に関わる研究で、未来の食と人間社会はどのような方向を目指して行くのかを示すことのできる文理協働の学術研究を助成します。現在の課題解決に限らず、「未来」のあり方を示唆する研究を期待します。

➤ 対象とする学術研究分野

「食の未来と人間社会」に関連する文理協働の学術研究（現時点で着手している研究も含む）

➤ 助成の種類と内容

● 萌芽研究助成金

- ・人文社会科学及び自然科学各1名以上を含む最大3名までの探索的、挑戦的な研究
- ・助成期間：1年間 ・助成金額：1件当たり 200万円以下

● 創成研究助成金

- ・人文社会科学及び自然科学の両分野の研究者が共同で行う独創的、先駆的な研究
- ・助成期間：1～3年間 ・助成金額：1件当たり年間500万円以下(3年総額1500万円以下)

➤ 応募資格（詳細は「応募要項」でご確認ください。）

- ✓ 人文社会科学及び自然科学の両分野の複数の研究者による共同研究の代表研究者が申請すること
- ✓ 代表研究者は国内の大学、研究機関に所属すること。共同研究者の所属は問わない。代表研究者は大学院博士後期課程在籍者も対象とする。（大学院博士前期課程及び学士課程在籍者は対象外）

➤ 応募期間

2025年11月4日（火）～12月23日（火）

➤ 応募方法

財団ホームページの「応募要項」および「応募手順」をご確認の上、
「研究助成申請システム」から提出してください。

https://www.mishima-kaiun.or.jp/specific_research/



公益財団法人 **三島海雲記念財団**

TEL:03-5422-9898 E-mail : mishimak15@mishima-kaiun.or.jp

三島海雲記念財団は、カルピス創業者である三島海雲が、私財を投じて1962年に設立した学術研究助成財団です。